



平成20年度芸術創造活動重点支援事業

魚鱗

UROKOGATA

形

廣田 幸稔

Hirota Yukitoshi

一調 杜若 金剛 永謹

狂言 竹生島詣 茂山 茂

ごあんない 天野 文雄

面／増 装束／舞衣 (金剛家蔵)

第十回記念廣田鑑賞会能

平成二十年五月十一日(日)午後一時半始曲(開場十二時半)



◆料金 / 【一般】8,000円 【会員】7,500円 【学生】3,000円

◆主催 / 廣田鑑賞会 ◆指導 / 宗家 金剛永謹 ◆後援 / 金剛会・京都新聞社

会場 **金剛能楽堂**

TEL.075-441-7222
京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

第十回記念 廣田鑑賞会能

午後一時半始曲 金剛能楽堂

ご挨拶

いつも廣田鑑賞会にご支援をいただき、ありがとうございます。
お蔭様で当鑑賞会も十回目の記念の会を迎えることができました。今回は当流で能として舞台にあがるのは六十数年ぶりという「鱗形」を演じさせていただきます。先々代金剛宗家が流儀の曲を整理した時に、私の祖父・廣田弘が現行曲に残すよう懇願したという、当会にとっては縁の深い曲です。本日は六十数年前の舞台ではなかった北条家の旗を新調し、鳥居を天冠に載せる完全な形で舞台を勤めます。

狂言は、弁財天にかけて「竹生嶋詣」をお楽しみいただきます。ごあんないは能楽が専門の大阪大学教授・天野文雄氏にお願いをいたしました。

お忙しい時期とは存じますが、陽春のひとときを金剛能楽堂で過ごしいただけたら幸いです。ご高覧をお待ち申しあげております。

平成二十年 弥生 吉日

廣田 幸 稔

◆ 番組

◎午後一時半始曲

狂言 竹生嶋詣

茂山 茂

佐々木千吉

後見 松本 薫

金剛永謹

一調 杜若

観世 元伯

ごあんない

大阪大学教授 天野 文雄

― 休憩 ― 二十分

能 鱗形

廣田 幸稔

高安 勝久

谷口有辞

観世元伯

間 松本 薫

林 光寿

森田保美

廣田泰三
金剛永謹

宇高徳成

柴田良平
鳥崎暢久
宇高竜成
和田次夫

重本昌也
今井克紀
廣田泰能
豊嶋晃嗣

◎午後四時頃終了予定
都合により内容を一部変更する場合がございます。

狂言 「竹生嶋詣」

主人に無断で旅に出た太郎冠者は竹生嶋詣に言ったとうそを言います。そうとは知らない主人が竹生嶋では何に出会ったと問い、犬・猿・かえる・くちなわ(蛇)に出会って鳴き声にかけた洒落を話はじめますが、さて、くちなわの鳴きまねは…。ストーリーは分かりやすく、それだけに演者の持ち味が楽しめる一曲です。

能 「鱗形」

北條四郎時政は武門の家に生まれながら、未だ旗の紋が決まらず相模の国江ノ島の弁財天に祈願に訪れた。三七日岩屋に籠って祈願をしていると、里の女が現れて望みは叶えられるだろうとの言葉を残して社殿に姿を消す。尚も時政が祈りを続けていると社殿が雷動し、童子を従えた弁財天が時政の前に現れ、三つ鱗の旗を受けると、たとえ四方を敵に囲まれても、この旗をさし上げれば神通力によって敵を平らげることができるといふ。残して、社殿の扉を開けて、内陣へと入っていく。

出典 太平記 巻第五
面／前シテ増 後シテ増

当日配布冊子 解説 大阪大学教授 天野文雄

同志社大学教授 加美 宏
甲南大学教授 西條隆雄



廣田幸稔 (ひろた ゆきとし)

金剛流シテ方
先代および当代宗家・
金剛永謹と父陸一に師事
重要無形文化財保持 金剛会理事
京都市芸術新人賞 文化庁芸術祭新人賞

※当日解説付番組あります。

〈次回公演予定〉 第11回 廣田鑑賞会能 平成20年10月5日(日) 午後1時半始曲 能「定家」廣田幸稔 狂言 解説 大谷節子
第12回 廣田鑑賞会能 平成21年5月10日(日) 午後1時半始曲 能「隅田川」廣田幸稔 狂言 解説

菊之会 平成20年12月14日(日) 午後2時始曲 能「山姥」廣田泰能

FAXにても、ご予約を承ります。 廣田鑑賞会 075-722-9123までご送信ください。 切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第10回 廣田鑑賞会能 申し込み》

■お名前

■お電話・FAX

■ご住所

■一般券 (8,000円) 枚 ■学生券 (3,000円) 枚

会員入会 (第10回、第11回 年2回公演分) 会員7,500円 (年会費 15,000円)

第10回のみ

※ 内にチェックして下さい

チケット取扱所

●ローソンチケット(Lコード 52766) ●金剛能楽堂075-441-7222 ●京都新聞社文化センター
●檜書店 ●京都会館プレイガイド 075-771-6056 ●廣田鑑賞会 075-722-9123